

地域おこし協力隊 活動新聞

担当 映像クリエイト推進員 城下 孝
(住民生活課 移住定住応援室)
☎ 35-2115

みなさんこんにちは。さて今年の冬はどのくらいの雪になるのでしょうか？今回は夫婦で移住してきた協力隊の農業支援員、高野雅弘隊員と高野まなみ隊員をご紹介します。

札幌からやってきた二人は介護福祉士の国家資格を持ち、長く介護のプロとして仕事を続けてきましたが、いつしか農業をしてみたいという強い気持ちを持つようになり、沼田町を選んで7月に移住をしてきました。



▲町長室での辞令交付(7月1日)

農業支援員

たかの 高野 まなみ隊員 たかの まさひろ 高野 雅弘隊員



▲北空知新聞『職場の元気印 FACE』から

Q. 沼田を移住先に選んだ理由は？

(雅弘さん) 以前から田舎でのんびり暮らしたいという思いがあり、調べたところ支援の手厚い沼田に興味を持ちました。都会から近すぎず、遠すぎず、程よい距離感もいいですね。

(まなみさん) 田舎暮らし No.1 と聞いてやって来ました。花や作物は頑張っただけ自分に返ってくる、そういう仕事をしたかったんです。

Q. 農業に携わってみての感想は？

(雅弘さん) 思い描いていたのんびりした生活とは程遠く、覚える事が山ほどあり大変な仕事です！

(まなみさん) 少しずつ農家という仕事に分かってきて、難しさと楽しさを感じています。

Q. 目標とするところは？

(二人) 協力隊の3年が終了したら、個人経営で花き農家として夫婦でやっていきたいと思います。

ひと言：(雅弘さん) 花の仕事を覚えるのはもちろん、町民の皆さんとの交流も大事にしていきたいです！宜しくお願い致します！

(まなみさん) 沼田での暮らしも仕事も楽しんでやっていきたいです！皆さんよろしくお願いします！

協力隊員の中には沼田の豪雪を初体験するメンバーもいます。

みなさんのご指導、ご協力をよろしくお願いします！